

制定理由

文部科学省は、平成 19 年度に、首都圏における稠密な調査観測を行い、複雑なプレート構造の下で発生しうる首都直下地震の姿（震源域、将来の発生可能性、揺れの強さ）の詳細を明らかにするとともに、耐震技術の向上や地震発生直後の迅速な被害把握等と有機的な連携を図り、地震による被害の大幅な軽減と首都機能維持に資することを目的とした 5 ヶ年間の研究開発プロジェクトとして、「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」を実施することにし、実施に関する公募が行なわれた。地震研究所は、「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」のサブプロジェクト「首都圏周辺でのプレート構造調査、震源断層モデル等の構築等」（以下、本プロジェクト）に応募し、実施機関に選定された。

本プロジェクトを遂行するため、全国共同利用研究所である東京大学地震研究所（以下「研究所」という。）が、関係する研究機関（者）の参加協力を得て研究遂行にあたることとされた。

これを受け、本プロジェクトの円滑運営に資するため、研究所に委員会を置き、首都直下地震防災・減災プロジェクト研究運営委員会規則を制定しようとするものである。

首都直下地震防災・減災プロジェクト研究運営委員会規則

平成19年6月28日制定

(趣旨)

この規則は、「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト：サブプロジェクト①首都圏周辺でのプレート構造調査、震源断層モデル等の構築等」(以下「本プロジェクト」という。))の研究を効果的に推進するため、首都直下地震防災・減災プロジェクト研究運営委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営について定めるものとする。

(目的)

第1条 委員会は、本プロジェクトの研究に関する重要事項を審議し、関係研究機関(者)間の連携を緊密にし、もってその有効な推進を図ることを目的とする。

(任務)

第2条 前条に定める目的を達成するため、委員会は、次の各号に掲げる事項について審議し、決定する。

- (1) 本プロジェクトに関わる研究計画
- (2) 委員会の構成員
- (3) その他、研究推進に関わる事項

(構成)

第4条 委員会の委員は、次の各号に掲げる職員の中から地震研究所長が委嘱する。

- (1) 本プロジェクトに参加する者若干名
 - (2) 上記以外の有識者若干名
- 2 必要に応じて、オブザーバーの参加を認める。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、委員会の会務を総括する。
- 3 委員長は、必要に応じてオブザーバーの出席を求めることができる。
- 4 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(任期)

第6条 委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第7条 委員会は、必要に応じ、委員長が招集する。

(研究支援組織)

第8条 研究の円滑な推進と機能的な連携関係を保つため、地震研究所 地震予知研究推進センター内に研究支援組織を持つものとする。

(庶務)

第9条 委員会の事務は、地震研究所において処理する。

(委員会の期限)

第10条 委員会の期限は本プロジェクトの終了までとする。

(補則)

第11条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員会の定めるところによる。

附 則

1. この規則は、平成19年6月28日から施行する。
2. この規則の施行によって委嘱される最初の委員の任期は、第6条の規定にかかわらず、平成20年3月31日までとする。

19. 6. 28

首都直下地震防災・減災プロジェクト研究運営委員会の構成

○委員

1 (研究実施機関研究者)

東京大学地震研究所	教授	平田直	研究代表者・「(1) 地震計を用いた自然地震観測によるプレート構造調査」研究代表者
東京大学地震研究所	特任教授	笠原敬司	「(1) 地震計を用いた自然地震観測によるプレート構造調査」研究分担者
東京大学地震研究所	准教授	酒井慎一	「(1) 地震計を用いた自然地震観測によるプレート構造調査」研究分担者
東京大学地震研究所	教授	佐藤 比呂志	「(2) 制御震源を用いた地殻構造探査」研究代表者
東京大学地震研究所	教授	島崎 邦彦	「(3) 歴史地震等の記録の収集、整理及び再評価」研究代表者
東京大学地震研究所	教授	瀬瀬 一起	「(4) 震源断層モデル等の構築」研究代表者
東京大学地震研究所	准教授	都司 嘉宣	「(3) 歴史地震等の記録の収集、整理及び再評価」研究分担者

2 (再委託先機関研究者)

防災科学技術研究所	センター長	小原一成	(1) 地震計を用いた自然地震観測によるプレート構造調査
神奈川県温泉地学研究所	主任研究員	棚田俊收	(1) 地震計を用いた自然地震観測によるプレート構造調査
千葉大学理学部	教授	伊藤谷生	(2) 制御震源を用いた地殻構造探査
名古屋大学大学院環境学研究科	准教授	山中佳子	(3) 歴史地震等の記録の収集、整理及び再評価
東北大学大学院理学研究科	教授	海野徳仁	(3) 歴史地震等の記録の収集、整理及び再評価

(財) 地震予知総合研究振興会	解析部長	松浦律子	(3) 歴史地震等の記録の収集、整理及び再評価
産業技術総合研究所	センター長	杉山雄一	(3) 歴史地震等の記録の収集、整理及び再評価
京都大学防災研究所	教授	岩田知孝	(4) 震源断層モデル等の構築」
防災科学技術研究所	プロジェクトリーダー	藤原広行	(4) 震源断層モデル等の構築」
東京工業大学総合理工学研究科	教授	翠川三郎	(4) 震源断層モデル等の構築」

3 (上記以外の有識者)

(独) 海洋研究開発機構		理事	末廣 潔	(委員長)
東北大学大学院		教授		長谷川昭
地震予知総合研究振興会	地震調査研究センター	センター所長		阿部勝征
国土地理院	地理地殻活動研究センター	センター長		村上亮
気象庁地震火山部	地震予知情報課	課長		吉川澄夫
東京都総務局		企画調整担当部長		鈴木省五
横浜市安全管理局危機管理室		室長		鈴木洋

○ その他の出席者 (オブザーバー)

- 1 (委託元) 文部科学省研究開発局地震調査研究課
- 2 (事務局) 東京大学地震研究所